



豊洲市場でまたも基準100倍のベンゼン

移転中止、築地の再整備を

都議会議員(世田谷区選出)

さとよし・ゆみ

里吉 ゆみ **日本共産党**

豊洲市場「無害化は約束できない」

専門家会議 座長が発言



東京都が築地市場の移転先とする豊洲新市場予定地（東京ガス工場跡地）の土壌汚染対策を議論する都の専門家会議が、5月18日開かれました。会議で、平田座長は、豊洲市場の汚染について「無害化の約束はできない。環境基準（以下）にすることをめざしていない」と発言。傍聴していた市場業者らから「約束違反だ」との批判が相次ぎ、会議は紛糾し途中で打ち切りとなりました。

会議では、今年2月に行った地下水調査に続いて、4月に実施した調査でも、同じように環境基準の100倍のベンゼンをはじめシアンなど有害物質が多数箇所から検出されたことが報告されました。深刻に汚染されていることが決定的となりました。

にもかかわらず専門家会議は、当初、環境基準を超える汚染を残したままの「対策」を提案する予定でした。会議で平田座長は「無害化の約束をし

なければならないということは私はできない。全て環境基準にすることを今回はめざしてない」と発言しました。しかし、市場業者や都民のみなさんから「無害化とするとした約束に違反する」とする声が相次ぐなか、「対策」を提案できませんでした。

土壌汚染も地下水汚染も無害化しないですすめようとする市場当局と専門家会議の対応では、都民を納得させられないことは、もはや明瞭です。

築地再整備こそ安全・安心の道



生鮮市場をどうするかという問題は、50年、100年単位で考えるべき事業です。食の安全・安心を守るために、日本共産党は、豊洲新市場への移転をきっぱりと中止し、80年余の歴史で安全が実証され、世界的ブランドとして確立している築地での再整備に踏み出すことを強く求めます。

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2017年5月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

「しんぶん赤旗」や「東京民報」を
ぜひお読みください